

# 主題研究 ①

令和5年4月11日 (火)

## 今年度の主題研究について

### <研究テーマ>

昨年度は『すべての生徒が「分かる・できる」と実感できる授業の構築～ICTの効果的な活用を通して～』という研究主題のもとタブレット端末の効果的な活用の方法を模索、ICTを活用した授業を積極的に行うという取組を行ってきました。その結果として、Teams や SkyMenucloud を活用した授業が多く行われ、生徒・職員 ICT 活用力の向上が図られました。また反省として挙げられたものの中には、専門的な視点での講習や実践紹介の必要生がありました。また、本校の課題としてその結果学力の向上が挙げられており、ICT を効果的に活用してその課題にアプローチできないかと考えました。そこで、今年度は、「わかる・できる」授業の構築のための手段として、ICT の活用に特化しそれが学力向上につながる研究にしてみてもどうかと思い、以下のような研究主題を提案します。

### 研究主題

**すべての生徒が「分かる・できる」と実感できる授業の構築  
～学力向上をめざした ICT の効果的な活用を通して～**

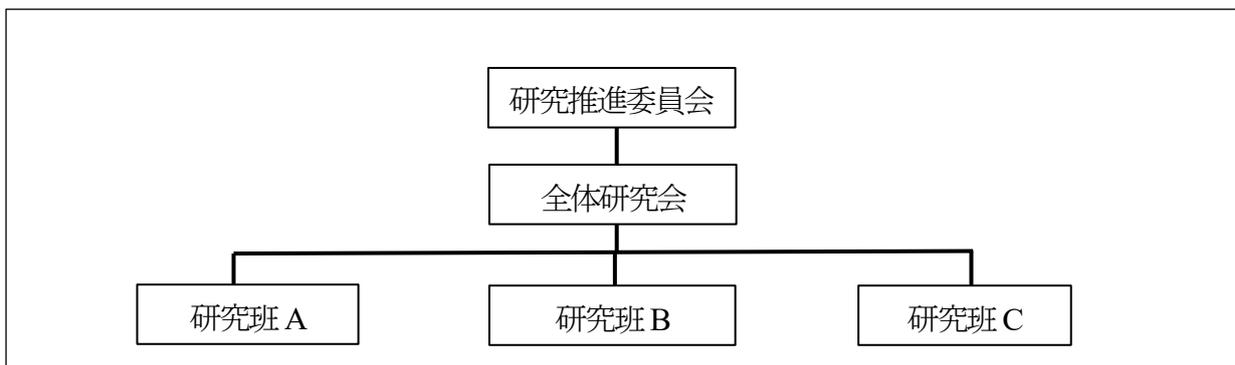
### 1. 昨年度から継続したい内容

1. 1人1回の研究授業
2. 7月、12月、の授業アンケート
3. 県教委から提示されている「授業改善の4つのポイント」に基づいた、授業改善の視点の作成
4. 授業づくりチェックシート
5. ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくりチェックシート（一昨年度から復活）

### 2. 今年度の取組

- (1) Teams 及び SkyMenucloud の昨年度の実践紹介  
昨年度の使用例を紹介して、今年度も継続して使用できるようにしていく
- (2) ICT活用のちょうどいいの検討  
学力向上につながるように、ICTばかりにならず、使わなすぎずの適切な使い方を検討する。
- (3) 講師による講習・実践紹介
- (4) 生徒の実態把握  
授業アンケートや各種テストの分析を行い、実践内容が生徒の「わかる・できる」につながっていたのかを分析する。

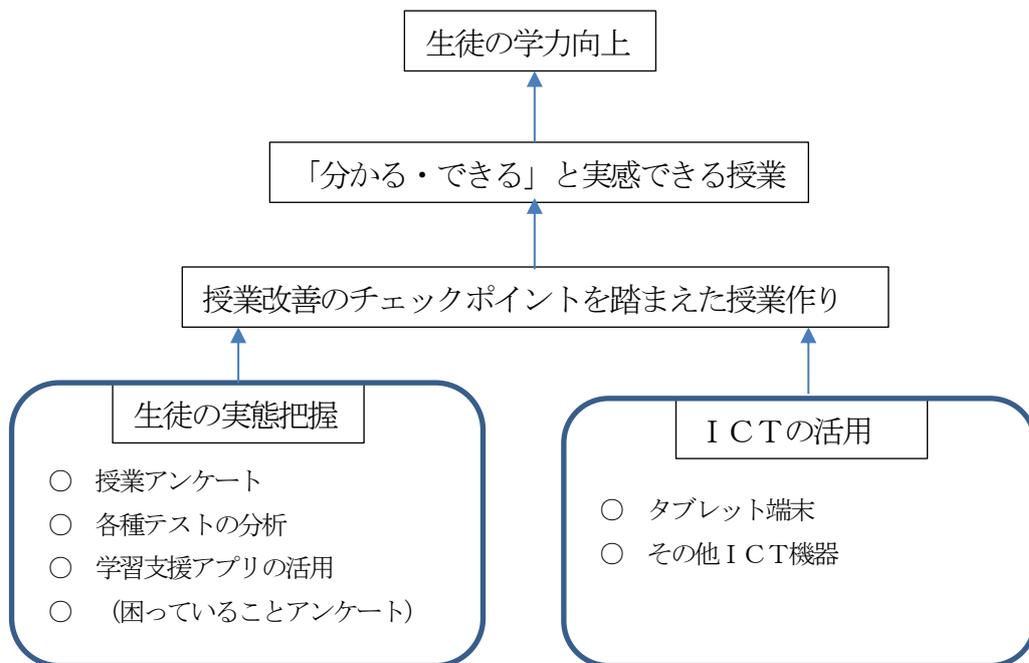
### 3. 研究組織図 (案)



4. 研究の評価について

- 1学期末と2学期末に行う授業アンケート結果
- ICT活用指導力チェックの変容
- 職員のタブレット使用スキルに関する自己評価
- 各種テストの分析

5. 研究のイメージ



○資料 ①

	Teams 共同編集	Teams Forms	Sky menu cloud
主な用途	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グループワーク</li> <li>・班活動の際に共同で1つの資料を作成するときに</li> <li>・これまで→1枚のプリントにまとめるために待つ生徒が発生</li> <li>・しかし→同じ時間に同じファイルを共有して作成可能</li> <li>大幅な時間短縮</li> <li>作業の様子も教員が確認可</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○小テスト</li> <li>・瞬時に集計、即フィードバック</li> <li>・選択式、単語記入式どちらも可</li> <li>・誤答・無回答の確認も容易</li> <li>○アンケート</li> <li>・指導案作成時の実態把握</li> <li>・割合計算まで瞬時に終了</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ノートとして活用</li> <li>・個別の考えをまとめて単元や学期ごとに教員が確認可</li> <li>・ファイルを配布することでワークシートとしても活用</li> <li>○個別に提出・回収</li> <li>(teamsでもできるが、個人で積み上げる際にはこちらが便利)</li> </ul>
	アカウントは全生徒・全職員保有		

○資料 ②

○ 効果的な ICT 利用

- ・時間的な効果
- ・視覚的な効果
- ・作業の効率化
- ・興味関心の増幅
- ・学び合いの促進
- ・情報の共有
- ・辞書的な活用

→ ICTを取り入れる中でこれらの利用方法のどれかが考えられる。

このどれにもあてはまらない場合は効果的かどうか疑われる。